

2025年に出たおすすめ本

福井県では、子どもの読書活動推進の一環として、乳幼児から高校生までの子どもの成長段階に応じた推奨図書を選定し、小冊子やリストの形で公開しています。

その番外編として、2025年に出版された本の中から、小学生のみなさんへおすすめしたい本を紹介します。

小学1・2年生～



子ねずみウォルターはのんびりや

マージョリー・フラック/作・絵
おびかゆうこ/訳
徳間書店

子ねずみのウォルターは、あきれほどののんびりや。何をしても時間がかかります。ある日学校から帰ると、家族は引っ越した後でした。家族を探して深い森に迷いこんだウォルター。わすれっぽいカエルたちや、のんきなカメと一緒にいるうちののんびりやではいられなくなります。



なぜなぜばなし どうぶつ村の井戸

ティンガティンガ・アートでたのしむ
アフリカのむかしばなし

しまおかゆみこ/編・再話
ヤフイドウ/絵
かがわ出版

井戸ほりを手伝わず、水をぬすむわるいうサギが、ライオンにしっぽを食いちぎられるおはなし「どうぶつ村の井戸」のほか、2つのアフリカのむかしばなしが入っています。動物の形や鮮やかな色づかいが面白いさし絵は、タンザニアの“ティンガティンガアート”で描かれています。



ひろしま絵日記

中澤晶子/作
ささめやゆき/絵
小峰書店

小学2年生のみなみちゃんは観察日記をつけるのがだいきらい。夏休みに行ったひいおばあちゃんの家で、ひいおばあちゃんの妹のまあちゃんの日記を見つけます。まあちゃんは、みなみちゃんと同い年でした。日記には、戦争中の生活が書かれていました。この日記を読んで、みなみちゃんは…。



ほるんだ、恐竜化石! モンゴル恐竜発掘記

平田貴章/写真・文
小林快次/監修
小学館

モンゴルの首都から車で2日かけて発掘場所に到着します。隊員はベースキャンプを作り、まず地面をよく観察します。化石らしきものを見つけてから、発掘の準備を始めます。化石を傷つけないよう、機械を使わず、手作業で発掘していきます。化石が発掘されるまでの様子がよくわかります。

◆図書館・学校等の方へ ここで掲載している紹介文とキャッチコピーは、図書館や学校などでの子どもの読書活動に、自由に使用することができます。POPとして本の展示に使用するなど、読書活動にご活用ください。

◆小冊子とあわせてご活用ください 「子どもの成長段階に応じた推奨図書」小冊子(幼児編、小学生編、中学生・高校生編)は、各公立図書館で配布、また、生涯学習・文化財課のホームページにPDF形式で掲載しています。

◆小冊子・推奨図書リスト掲載ホームページはこちら

福井県教育庁生涯学習・文化財課ホームページ「子どもの成長段階に応じた推奨図書(中学生・高校生対象)」
<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/syoubun/dokusyo/suishoutosho-tyuukousei.html>

◆問い合わせ先 福井県生涯学習・文化財課 0776-20-0559 syoubun@pref.fukui.lg.jp

